

3M™ リムーバー フィルムリムーバーR221、 アドヒーシブリムーバーR231 の使用方法について

1. 定義

この説明書は 3M™ リムーバー フィルムリムーバーR221 および、アドヒーシブリムーバーR231 の使用方法に関し説明するものです。R221/R231 は、3M™ コントロールタック™ フィルム向けの剥離剤となりますので、他フィルムへの使用では十分な効果が得られないことがあります。

2. 使用材料および工具

R221/R231 の使用する際には、以下の材料および工具をご使用ください。

- R221/R231
- マスキングテープ
- ポリエチレン等の養生シート
- ウェスやペーパータオル等の厚手の紙
- 刷毛、ペイントブラシ、またはペイントローラー
- スプレー容器
- プラスチック製スクレーパー、またはリベットブラシ
- ゴム手袋、保護メガネ、マスク等の保護具

3. 3M™ コントロールタック™ フィルムの剥離手順

3-1 フィルムの剥離

- ① 2の項の使用材料、工具が揃っていることを確認してください。
- ② R221 をフィルムに塗布する際、R221 がしたたれ落ちて他面を侵してしまう可能性があります。そのため、作業時は、他面にポリエチレン等の養生シートで保護しての作業を行ってください。
- ③ 下地やフィルム表面を洗浄し、十分に乾燥させてください。
- ④ 剥離作業後に残った R221 の除去を容易にするため、フィルム付きマスキングテープ等により、剥離するフィルム周囲を覆い、余分な R221 が下地面に付着しないように養生してください。塗膜の状態によっては R221 が除去できなくなることがありますので、マスキングテープ等で、下地表面に付着しないよう十分な注意が必要です。
- ⑤ 下地温度が 10～30℃以上であることを確認してください。
- ⑥ R221 が下地を侵さないことを以下の方法で確認してください。
 - 1) 刷毛やペイントブラシ等により、下地表面の目立ちにくい部位に フィルムリムーバーR221 を塗布する。
 - 2) 15分以上放置し、自然乾燥させる。
※ 環境温度が 20℃以下の場合には、さらに長い乾燥時間が必要です。表1をご参照ください。

表 1. R221 の乾燥時間の目安

温度	乾燥時間の目安
30℃	15-20 分
20℃	15-30 分
15℃	15-45 分
10℃	30-60 分

3) 乾燥した剥離剤の膜を下地表面から剥がす。

4) 下地表面の外観異常の有無を確認する。

※ このとき、下地表面に外観異常が認められる場合には、**R221** の使用は避けてください。

⑦ 刷毛やペイントブラシ、ペイントローラー等を使って、剥離するフィルム全体に **R221** を均一に塗布してください。なお、**R221** の容器は、溶剤の揮発を防ぐため、使用時以外には蓋を閉じてください。剥離作業を効率よく行うためには、**R221** を均一かつ多めに塗布することをお勧めします。

※ ただし、塗布量が多すぎると粘着剤の残留量が多くなるのでご注意ください。

⑧ **R221** の塗布後、15 分以上放置し、乾燥させてください。気温が低い場合には、乾燥時間は長くなります。乾燥時間の目安は表 1 になりますが、塗布量によっても異なるので注意してください。

⑨ フィルム端部をつかみ、下地に対して **90** 度方向にゆっくりと引き剥がし剥離性を確認してください。

⑩ 剥離する際、フィルムはゴムのように伸びますが、フィルムが伸びずにちぎれてしまう場合、乾燥時間が短い、または **R221** の塗布量が少ない可能性があります。**R221** を再度塗布し、乾燥させてから同様に引き剥がしてください。

⑪ フィルムが柔軟になり、ちぎれずに剥離できるようになったら、フィルム全体を **90** 度の角度でゆっくりと引き剥がします。

⑫ フィルムを完全に剥離した後、粘着剤が残留していたときには、3-2 の項の「粘着剤の除去」を続けて行ってください。なお、このときには粘着剤の剥離が終了するまで ③で行ったマスキングは剥がさないでください。

⑬ 下地の状況と **R221** の塗布量によっては、フィルムを剥がした直後に残留した粘着剤をウエスにより擦ると、容易に除去できることがあります。

3-2. 粘着剤の除去

① **R231** が下地を侵さないことを、以下の手順で確認してください。

1) スプレー容器で **R231** を下地表面の目立ちにくい部位に十分吹きかける。

2) スプレー後、**30**～**60** 秒程度放置する。

3) ウエス等でスプレー箇所を拭き取る。

4) 下地表面の外観異常の有無を確認する。

※ このとき、下地表面に外観異常が認められる場合には、**R231** の使用は避けてください。

② 残留した粘着剤の表面に、スプレー容器に入れた **R231** を十分に吹き付けてください。スプレー後、**R231** が乾燥しない程度 (**30**～**60** 秒程度) 放置します。なお、乾燥を防ぐため、**30cm** 角程度の範囲ごとに作業を行うことをお勧め致します。

③ 放置後、粘着剤が十分に膨潤されて柔らかくなったことを確認できたら、プラスチック製スクレーパーやリバットブラシ等により、膨潤した粘着剤を掻き取ります。粘着剤を概ね除去した後、さらに **R231** を染み込ませたウエスによって下地表面を拭き取ります。必要に応じてこの作業を繰り返し、下地上の残留粘着剤を完全に除去してください。

④ わずかに残った粘着剤については、ウエスに **IPA** (イソプロピルアルコール) を含ませて拭き取るのが効果的です。

3-3. 下地の清掃

マスキングテープを剥がし、下地全面を IPA (イソプロピルアルコール) 等により拭き取り、必要に応じて洗剤・水により洗浄してください。この清掃が不十分な場合、下地表面が汚れやすくなったり、新たに貼付するフィルムの接着性に影響を及ぼすことがあります。

4. 廃棄

剥離作業において出た廃材は、必ず産業廃棄物として扱い、自治体の規定に則り 産業廃棄物処理業者にその処理を依頼してください。家庭用のゴミとして処分しないでください。

5. その他注意事項

R221/R231 は、直接触れると目や皮膚に炎症を起こすことがあります。また、引火性があるため作業環境には火種がないことが必須であり、室内での作業の場合には強制換気を行う必要があります。

その他、安全性に関する情報については、安全データシート (SDS) をご参照ください。

6. 免責事項

- ここで用いている数値は平均的なものであり、保証値ではありませんので規格等の作成には使用できません。
- 廃材は産業廃棄物として処理して下さい。
- この説明書もしくは本件フィルムの使用・使用不能もしくは誤使用によって生じるあらゆる損失・損害に対し、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

この使用説明書の著作権は当社に属します。よって、無断で複写・複製、引用、公開などを禁止します。

ご不明な点・ご質問などありましたら、ご購入先にお問い合わせ下さい。

仕様および外観は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告は全て弊社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任を全て負うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書に依らない限り弊社は責任を負いません。

3M、コントロールタックは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
コマースラルグラフィックス事業部
<http://www.mmm.co.jp/cg>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2017. All Rights Reserved.

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 0570-012-123

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます